

女性の就労継続を助けるコワーキング施設 託児付き女性専用シェアオフィス

物流サービス事業を主軸とするホンダロジコムは近年、SDGsに寄与する幅広い分野での新規事業に着手。その一環として女性専用の託児サービス付きシェアオフィスを開設し、優秀な女性社員の育児離職を防ぐ福利厚生にと雇用主企業に提案している。

ホンダロジコム（春日井市）

では2017年に物流センター内に企業内保育所を設置、育児中の女性の採用を積極的に行ってきた。そこにコロナ禍が発生、「子育てしながらのテレワークは大変」という社会的ニーズが高まったことから、育児負担が

大きい女性の働く環境改善の一ツとして、子供の見守りサービスが付いた女性専用のシェアオフィス開設へと進んだ。

場所は同社のサテライトオフィスの1つがある長久手市の建物の一階。施設名称「FLUP HOUSE」は、楽しく働いてほしい（Fun）、生活をより充実させてほしい（Life）、子供も大人も成長する場所（UP）、もうひとつの家となる場所に（HOUSE）から。



調理道具や冷蔵庫も備えるキッチンエリア



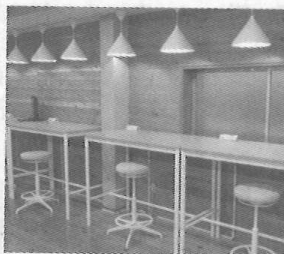
3人以上のスタッフが常駐する託児室。コワーキングエリアからのぞける小窓も設置

施設づくりには、企業内保育で培ったノウハウと、自社でフリーアドレスを実施する際に検討された仕事環境整備の諸々が生かされたほか、授乳室やおむつ交換台、キッチン、ネットスーパールと契約しての宅配ボックスなども備える。

利用時間は9時～17時。定員は最大20人を想定し、託児は最大8人、9カ月児から2歳児までが対象。「託児先がみつからず仕事に復帰できない人に、保育園などへの入園までのつなぎとして利用していただければ。利用者同士、育児上の悩み事などを共有できる場所にもなるでしょう」（ネオバリュウクリエーション部）

利用契約は利用者個人ではなく所属企業と結ぶ形式とし、1年単位が基本。料金は託児利用

コワーキングエリアには多様な仕事環境を用意



電話時やリモート会議参加時に便利な防音室

語らいや打ち合わせなどに使えるソファも置かれた広々とした施設内部。床や壁は無垢の木材が基調

FLUP HOUSE（フラップハウス）

所在地：長久手市上川原6-7

TEL：0568-56-5727

E-mail：fluphouse@honda-log.com